

科目名	コンサート概論1						年度	2025	
英語科目名	Introduction to Concerts 1						学期	前期	
学科・学年	コンサート・イベント科 コンサートPAコース 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	床鍋隆	教員の実務経験		無	実務経験の職種				
【科目の目的】 コンサート・音楽イベントについて必要不可欠な知識を学びます。ライブに不可欠なPAエンジニアとして必要な知識として、まず実習で取り扱う機材についての説明と、音の性質と特徴を捉えオペレートに必要な知識を学びます。									
【科目の概要】 基礎実習と連携をとりながら、実践の予習復習とコンサート音響に必要な基礎知識から、最新の状況まで取り上げていきます。前半は基礎実習ローテーションの中で取り上げた機材の解説と目に見えない音の不思議を。コース選択後はより音について深掘りしていきます。									
【到達目標】 A 簡単なPAシステムの配線が理解できる B 音の三要素が理解できる C 音の仕組みに興味を持ち音の性質が理解できる									
【授業の注意点】 授業開始時に着席し、空欄のノートとシャープペンの芯が出て、すぐ書ける状態でスタンバイをしておく。音楽をはじめとしてエンタテインメントは社会から生まれるものであることから、世の中の動きなどを知るための努力、授業だけではカバーできないエリアなどは、各自義務感ではなく好奇心として捉える癖をつける。他人の意見を否定せず、いったん自分に取り込んで決定する癖を付けていく。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	簡単なPAシステムの配線が理解できセッティングができる		簡単なPAシステムの配線が理解できる		簡単なPAシステムの配線の理解が乏しい				
到達目標 B	音の三要素の理解ができ、音の特徴を表現できる		音の三要素が理解できる		音の三要素の利害が乏しい				
到達目標 C	音の仕組みに興味を持ち音の性質が理解できる		音の性質が理解できる		音の性質の理解が乏しい				
【教科書】 参考書・参考資料等は、授業中に指示します。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 *試験と課題を総合的に評価する。*授業内容の理解度を確認するために実施する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		コンサート概論1			年度	2025
英語表記		Introduction to Concerts 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	音楽との関わり方	音響の仕事	1 アンケート	音楽・音響に関するアンケートを実施自分とのかかわり方を理解する	2	
			2 音響の仕事	音響に関連する仕事を理解する		
			3 音の不思議	音の性質による現象を理解する		
2	基礎音響学	音の三要素	1 基礎実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 音の三要素	音の三要素を理解する		
			3 音の三要素	音源を基に聞いて理解する		
3	基礎音響学	ミキシングコンソール	1 基礎実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 ミキシングコンソール	入力と出力を理解する		
			3 ミキシングコンソール	ミキシングコンソールの中の信号の流れを理解する		
4	基礎音響学	周辺機器	1 基礎実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 周辺機器	入力：マイクロホン、CDプレーヤーを理解する		
			3 周辺機器	出力：パワーアンプ、スピーカーを理解する		
5	基礎音響学	ミキシング	1 基礎実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 フェーダー操作	基本的なフェーダー操作を理解する		
			3 台本	台本の読み方を理解する		
6	基礎音響学	コネクタとケーブル	1 基礎実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 コネクタ	音響で使われるコネクタを理解する		
			3 ケーブル	各入出力で使われるケーブルを理解する		
7	基礎音響学	電気の話	1 基礎実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 AC/DC	交流と直流を理解する		
			3 バッテリー	乾電池・蓄電池を理解する		
8	基礎音響学	マイクロホン・エフェクター	1 基礎実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 マイクロホン	マイクロホンの種類と特性を理解する		
			3 エフェクター	リバーブ・イコライザーを理解する		
9	基礎音響学	基礎実習期間の総復習	1 基礎実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 コネクタ	コネクタの種類・ケーブル巻きを理解する		
			3 コンソールへの配線	入出力の配線を理解する		
10	基礎音響学	音の三要素	1 基礎実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 音の三要素	三要素＋エンベロープを理解する		
			3 音の性質	音速を理解する		
11	基礎音響学	音場	1 基礎実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 音場	音はどのように耳に伝わり感じるかを理解する		
			3 空間	壁の材質や音の反射吸収解析透過を理解する		
12	基礎音響学	音の性質	1 基礎実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 カクテルパーティー効果	カクテルパーティー効果を理解する		
			3 マスキング効果	マスキング効果を理解する		
13	基礎音響学	耳の構造	1 基礎実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 耳の構造	空気の振動が脳に伝わる仕組みを理解する		
			3 耳の特性	等感度曲線を理解する		
14	基礎音響学	前期実習の総復習	1 基礎実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 ミキシングコンソール	卓の中の信号の流れを理解する		
			3 システム	入出力の配線を理解する		
15	まとめ	前期講義について	1 基礎実習の復習	実習の内容を復習し理解する	2	
			2 前期の復習	基礎音響学・音の仕組みの復習		
			3 試験の傾向と対策	復習を踏まえ試験の傾向と対策		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等